



2021年11月19日

株式会社400F

株式会社ロイヤリティ マーケティング

Ponta提携社とお届け！「Pontaいましる」

11月22日は「いい夫婦の日」

**夫婦仲がいいと思う人は71.4%、仲が良い夫婦ほど「お金」の話をしている
将来の家庭の貯蓄に不安がある人は約6割。若い世代ほどFPへの相談ニーズが高い
～夫婦仲とお金に関する意識調査を実施～**

お金のオンラインチャット相談プラットフォーム「お金の健康診断」を提供する株式会社400F（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村 仁、以下 400F）と共通ポイントサービス「Ponta（ポインタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下 LM）は、夫婦仲とお金に関する意識調査（以下 本調査）結果をお知らせします。本調査は、あなたの知りたい“いま”をPonta提携社と調べる「Pontaいましる」2021年11月調査として「Pontaリサーチ」にて実施しました。

＜夫婦仲と普段の会話＞

- ・夫婦仲について「仲が良い」「どちらかというと仲が良い」は、合わせて71.4%。
- ・夫婦で普段会話していること、仲が良い夫婦は仲が良くない夫婦よりも「お金のこと」が31.4ポイント高い。仲が良くない夫婦の1位は「特になし」。

＜将来のために会話が必要なこと＞

- ・将来のためにもっと会話が必要だと思うこと、全体で「お金のこと」が32.2%で最多。

＜夫婦間のお金の把握状況、家計の分担＞

- ・配偶者（パートナー）の収入の総額を「知っている」「何となく知っている」は84.6%。
貯蓄の額を「知っている」「何となく知っている」は67.1%
- ・共働き世帯の生活費は「夫がほぼ全額負担」が39.3%で最多、次いで「夫婦共通の財布から支払う」が25.7%。「夫婦共通の財布から支払う」は、夫婦仲別で「仲が良い」が「仲が良くない」よりも10.4ポイント高い。

＜将来の貯蓄への不安と不安を感じる理由＞

- ・家庭の将来の貯蓄に「不安を感じている」「やや不安を感じている」は58.1%。
- ・不安を感じる理由は、1位「十分な老後資金を貯蓄できていないから」、2位「いくら貯蓄があれば安心できるのか分からず、漠然とした不安があるから」。

＜家計管理の相談有無＞

- ・家計の管理を「相談したことはない」は48.4%。
将来の貯蓄に不安を感じる方では、1位「夫婦間で相談している」（44.4%）に0.3ポイント差で、2位「相談したことはない」（44.1%）が続く。

＜FPへの相談意向と相談したい理由＞

- ・家計の管理について、ファイナンシャルプランナー（FP）への相談意向は、20～30代が高い。
- ・ファイナンシャルプランナーに相談したい理由、20～30代は全体と比べ「家計の見直し」についてが高い。

＜調査概要＞

調査方法：インターネット調査

調査期間：2021年10月23日～2021年10月25日

パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をいただいている方）

回答者数：1,800人 既婚者(事実婚含む)の(男性・女性)×(20～30代・40～50代・60代以上)の各6セルで300サンプル

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。

トピックス



TOPICS: 夫婦の「仲が良い」と思う、約7割

<夫婦仲と普段の会話>

夫婦仲について「仲が良い」「どちらかという仲が良い」は、合わせて71.4%。

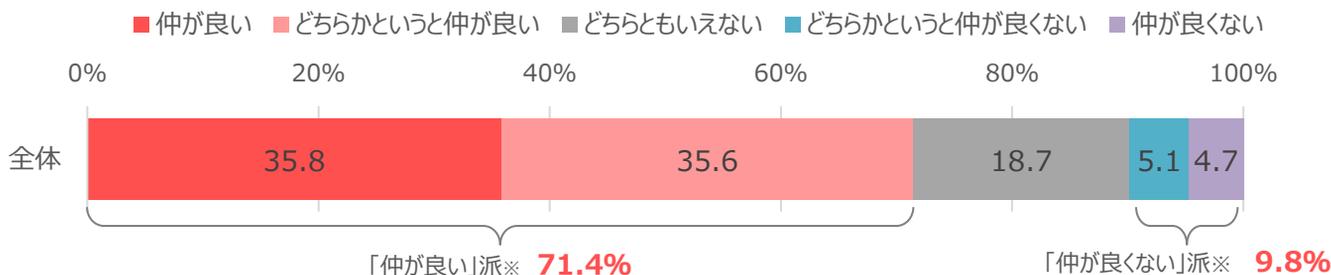
夫婦で普段会話していること、仲が良い夫婦は、仲が良くない夫婦よりも「お金のこと」が31.4ポイント高い。仲が良くない夫婦の1位は「特になし」。

…夫婦間で普段会話していることについて、全体では「子どものこと」が最も高く60.2%だった。

夫婦の「仲が良い」「どちらかという仲が良い」と答えた方では、「世間で話題になっていること」が、66.3%で最も高く、「仲が良くない」「どちらかという仲が良くない」と答えた方では「特になし」が、45.8%で最も高い結果となった。

■あなたは夫婦仲が良いと思いますか。(単一回答)

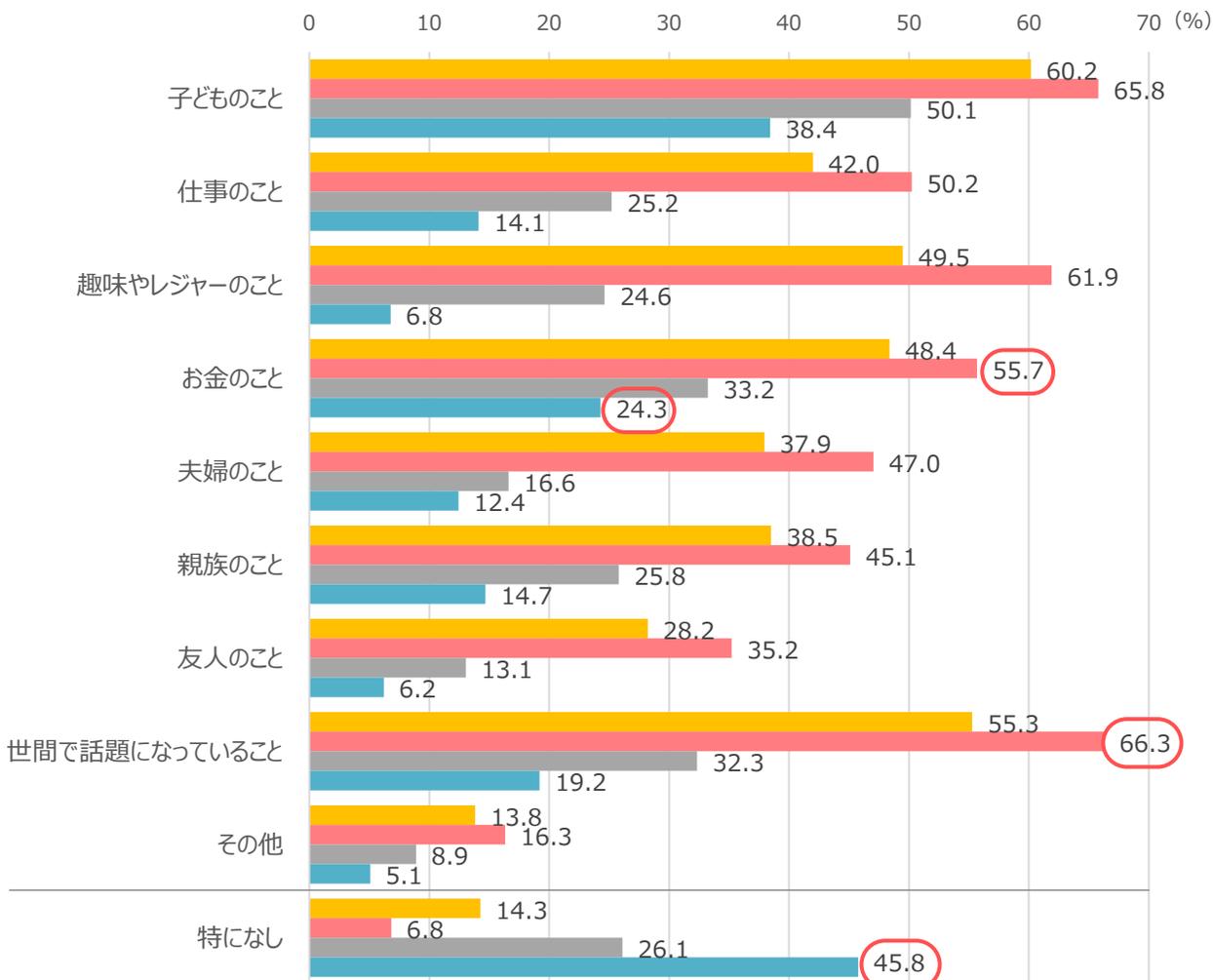
(n=1,800)



※以降、本調査結果の集計軸において、夫婦仲別の分類に利用。

■夫婦間の会話で普段から会話している内容について、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

■全体 (n=1,800) ■【夫婦仲】仲が良い (n=1,286) ■【夫婦仲】どちらともいえない (n=337) ■【夫婦仲】仲が良くない (n=177)





TOPICS: 夫婦間で将来のためにもっと会話が必要だと思うこと、「お金のこと」32.2%で最多

<将来のために会話が必要なこと>

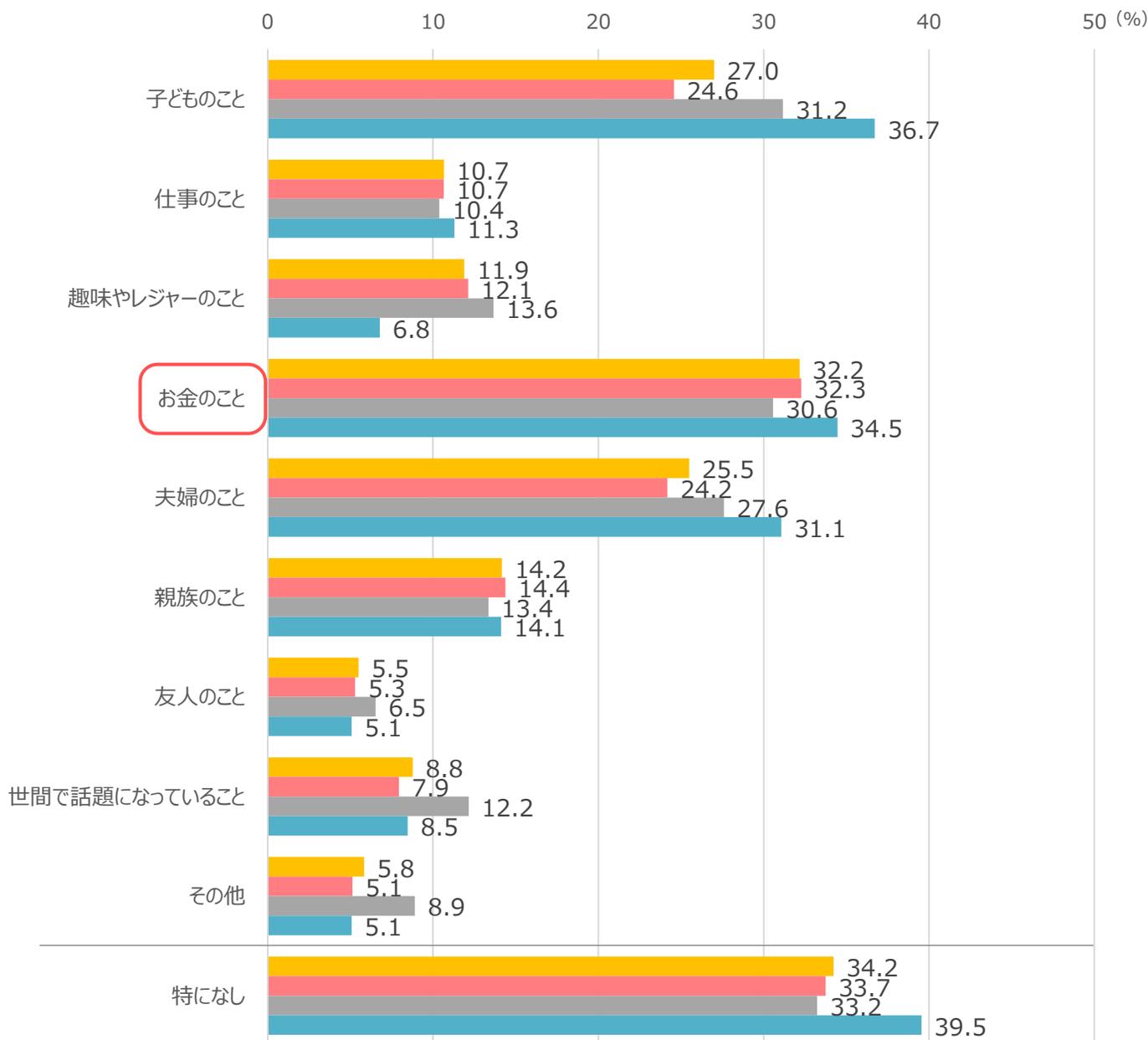
将来のためにもっと会話が必要だと思うこと、全体で「お金のこと」が32.2%で最多。

…夫婦間の会話で、将来のためにもっと会話が必要だと思うことについて、「特になし」を除くと、全体で「お金のこと」(32.2%)が最も高い。

夫婦仲別では、夫婦の「仲が良い」「どちらかという仲が良い」と答えた方は「お金のこと」が32.3%、「仲が良くない」「どちらかという仲が良くない」と答えた方は「子どものこと」が36.7%と最も高くなった。

■夫婦間の会話で将来のためにもっと会話が必要だと思う内容について、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

■全体 (n=1,800) ■【夫婦仲】仲が良い (n=1286) ■【夫婦仲】どちらともいえない (n=337) ■【夫婦仲】仲が良くない (n=177)





TOPICS: 共働き世帯の生活費は「夫がほぼ全額負担」

<夫婦間のお金の把握状況、家計の分担>

配偶者（パートナー）の収入の総額を「知っている」「何となく知っている」は84.6%。

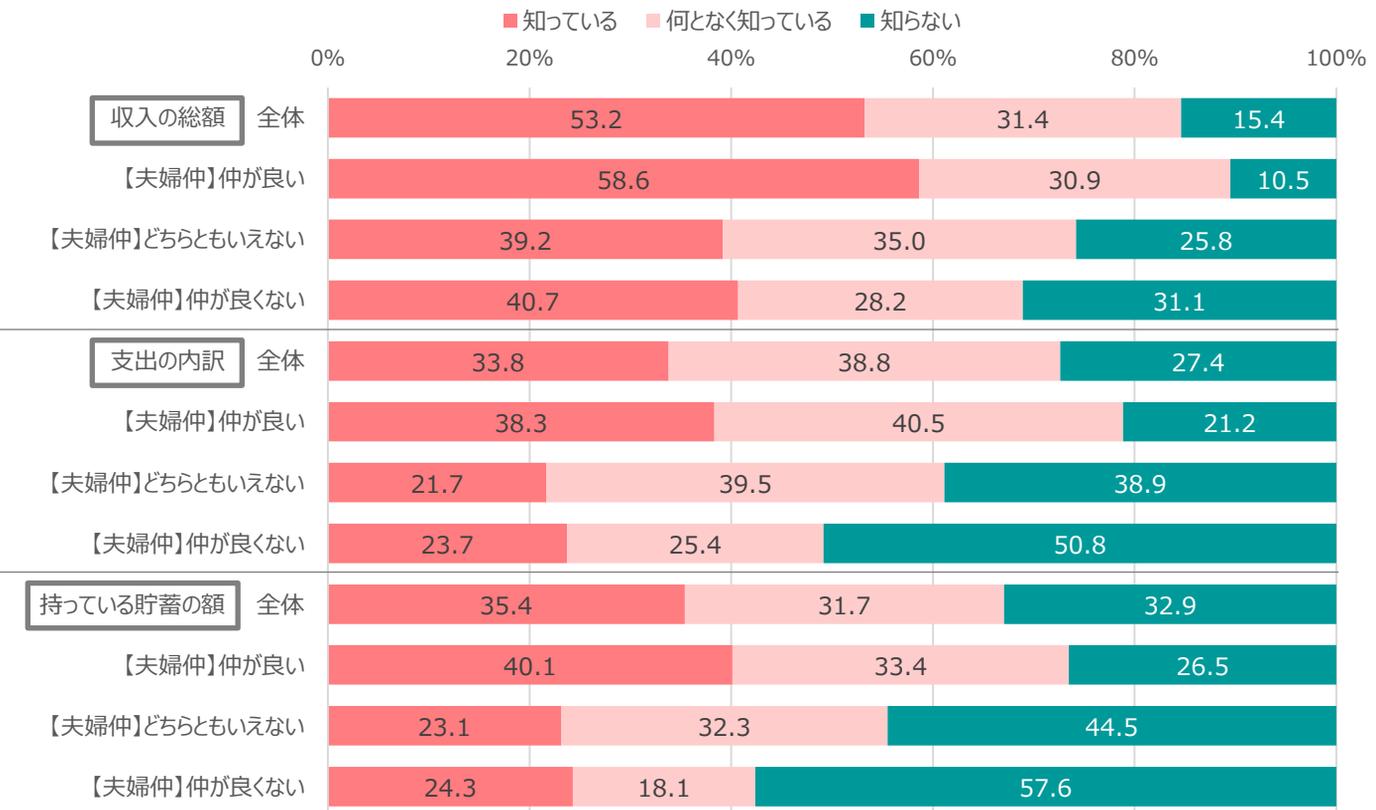
貯蓄の額を「知っている」「何となく知っている」は67.1%。

…配偶者（パートナー）の「収入の総額」「支出の内訳」「持っている貯蓄の額」それぞれにおいて、夫婦仲別で「仲が良くない」は「仲が良い」よりも「知らない」の割合が高い。

共働き世帯の生活費は「夫がほぼ全額負担」が39.3%で最多、次いで「夫婦共通の財布から支払う」が25.7%。「夫婦共通の財布から支払う」は、夫婦仲別で「仲が良い」が「仲が良くない」よりも10.4ポイント高い。

■あなたは配偶者(パートナー)のお金の状況についてどの程度把握されていますか。(単一回答)

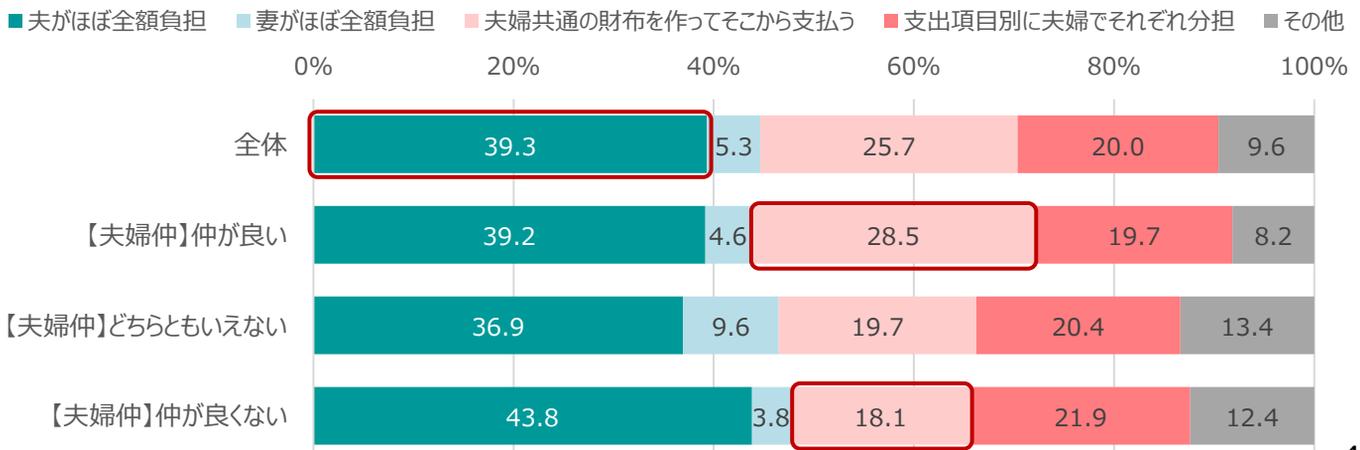
全体 (n=1,800) 【夫婦仲】仲が良い (n=1,286) 【夫婦仲】どちらともいえない (n=337) 【夫婦仲】仲が良くない (n=177)



■あなたのご家庭で毎月の生活費の分担はどのようにされていますか。(単一回答)

共働き世帯（二人ともフルタイム／一人はフルタイムでもう一人はパートタイムや時短勤務）の方に聴取

全体 (n=898) 【夫婦仲】仲が良い (n=636) 【夫婦仲】どちらともいえない (n=157) 【夫婦仲】仲が良くない (n=105)





TOPICS: 家庭の将来の貯蓄に不安を感じる人は、半数を超えて58.1%

<将来の貯蓄への不安と不安を感じる理由>

家庭の将来の貯蓄に「不安を感じている」「やや不安を感じている」は58.1%。

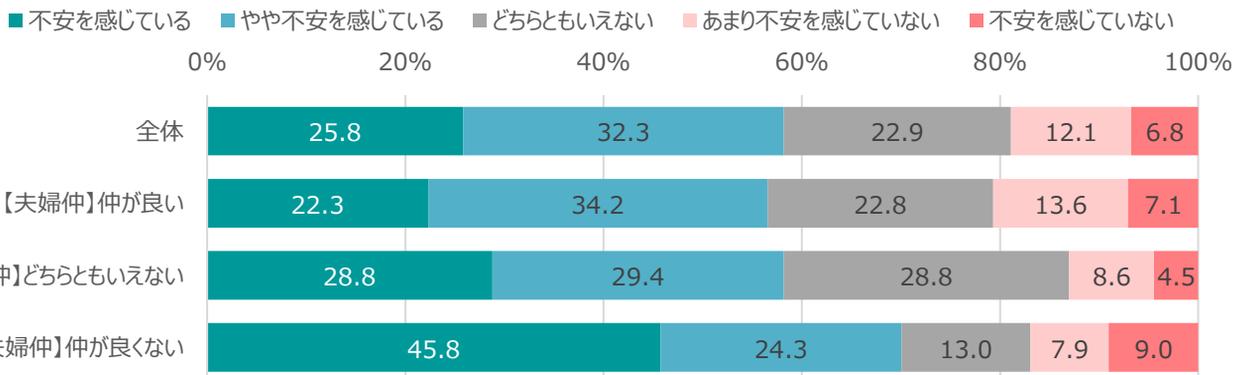
…家庭の将来の貯蓄に「不安を感じている」「やや不安を感じている」は、夫婦仲別で夫婦の「仲が良い」が56.5%、「どちらともいえない」が58.2%、「仲が良くない」が70.1%となった。

不安を感じる理由は、1位「十分な老後資金を貯蓄できていないから」、2位「いくら貯蓄があれば安心できるのか分からず、漠然とした不安があるから」。

…将来の貯蓄に不安を感じている理由は、1位が「十分な老後資金を貯蓄できていないから」53.4%となった。夫婦仲別でも、それぞれにおいて50%を超える結果となった。また、2位は「いくら貯蓄があれば安心できるのか分からず、漠然とした不安があるから」45.9%となった。

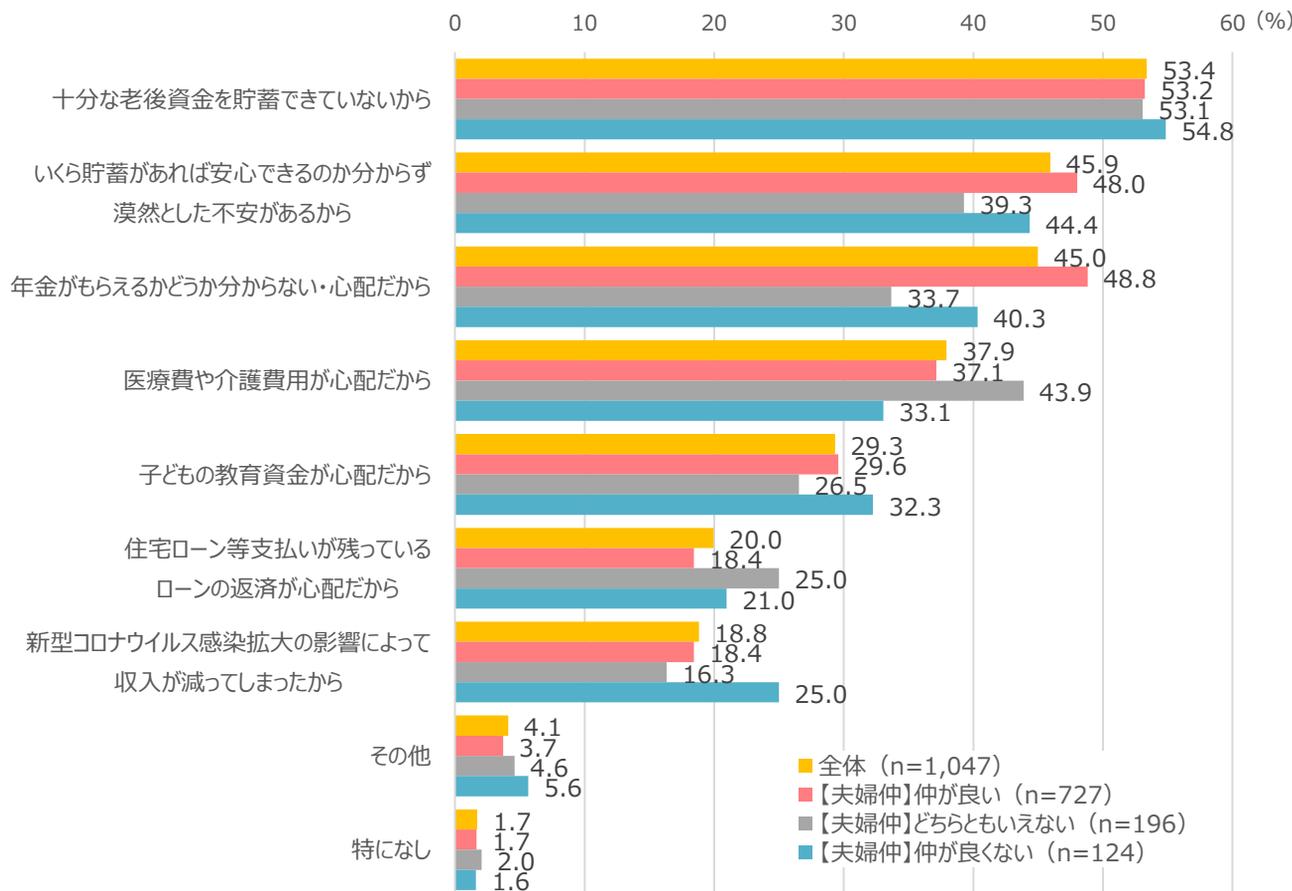
■あなたのご家庭の将来の貯蓄に不安を感じていますか。(単一回答)

全体 (n=1,800) 【夫婦仲】仲が良い (n=1,286) 【夫婦仲】どちらともいえない (n=337) 【夫婦仲】仲が良くない (n=177)



■「不安を感じている/やや不安を感じている」理由について、お選びください。(複数回答)

家庭の将来の貯蓄に「不安を感じている」「やや不安を感じている」と答えた方に聴取。





▶ TOPICS： 将来の貯蓄への不安がある一方、家計管理の相談をしたことがないは約4割

<家計管理の相談有無>

家計の管理を「相談したことはない」は48.4%。

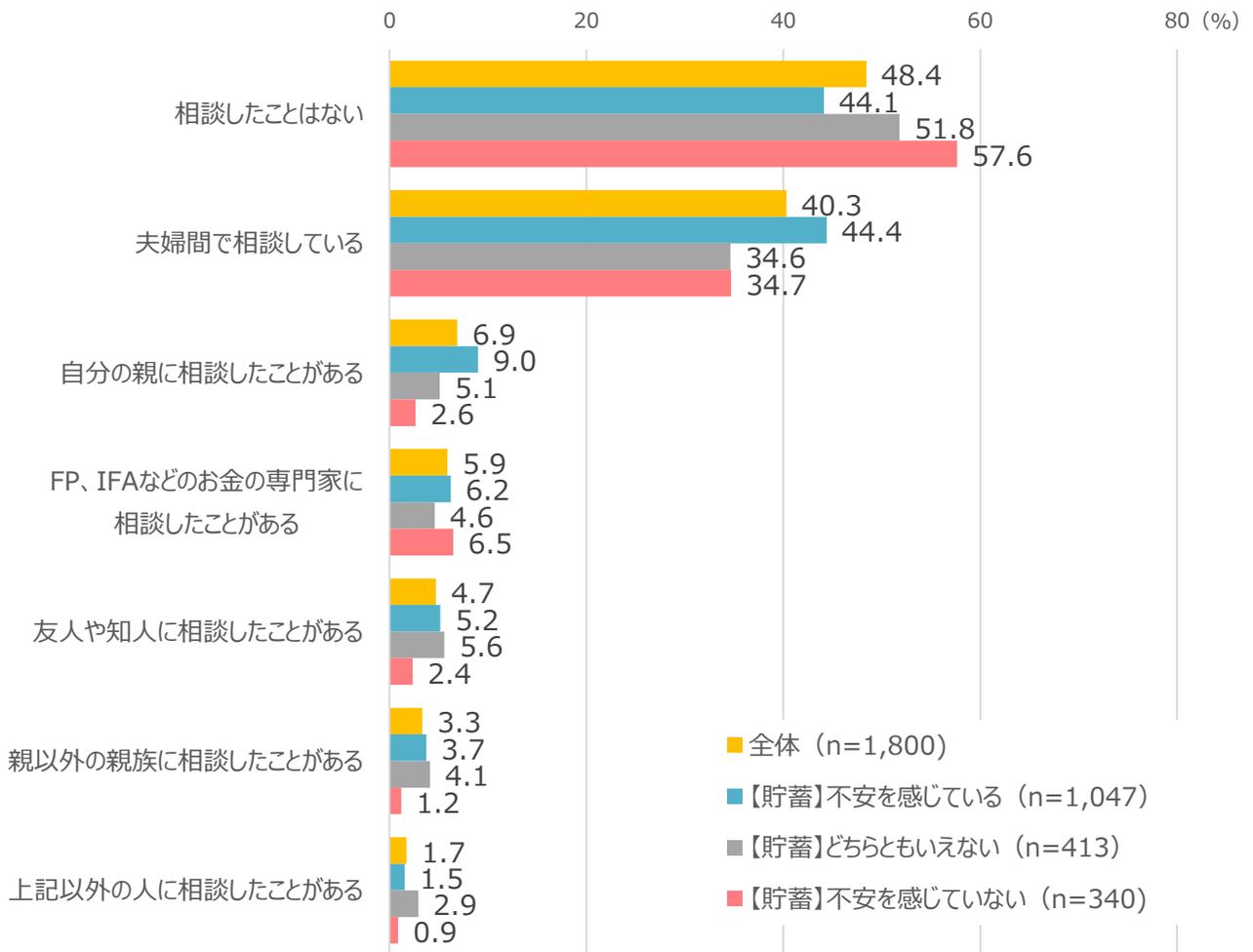
将来の貯蓄に不安を感じる方では、1位「夫婦間で相談している」（44.4%）に0.3ポイント差で、2位「相談したことはない」（44.1%）が続く。

…家計の管理を誰かに相談したことがあるかについて、1位「相談したことはない」48.4%となった。

2位「夫婦間で相談している」40.3%、3位「自分の親に相談したことがある」6.9%となり、相談したことがある方の多くが、夫婦間での相談であるとうかがえる。

将来の貯蓄への不安を感じている方では、1位「夫婦間で相談している」（44.4%）に次いで、0.3ポイント差で、2位「相談したことはない」（44.1%）が続く結果となった。

■ あなたはご家庭の家計の管理について誰かに相談したことはありますか。（複数回答）



※調査では、FPはファイナンシャルプランナー、IFAは独立系ファイナンシャルアドバイザーと補足して聴取



TOPICS: FPへの相談意向は20~30代が高く、「家計の見直し」について相談意向あり

<FPへの相談意向と相談したい理由>

家計の管理について、ファイナンシャルプランナー（FP）への相談意向は、20~30代が高い。

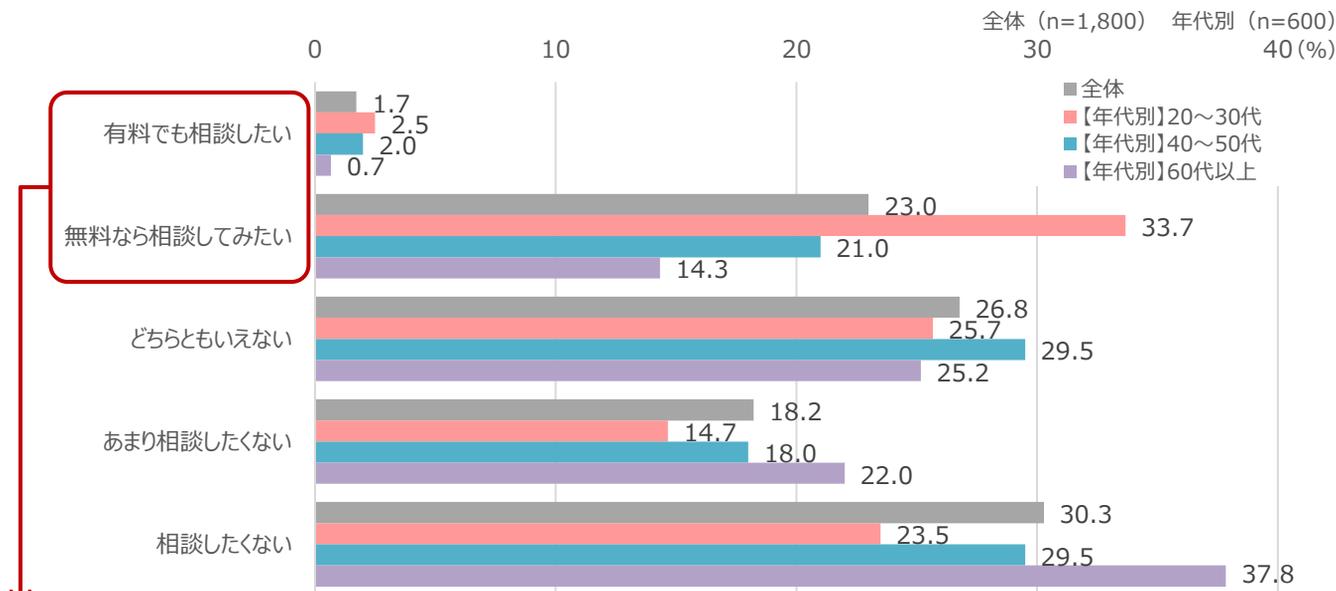
…若い年代ほどFPへの相談意向が高く、20~30代で「無料なら相談してみたい」は33.7%となった。

60代以上では「相談したくない」が最も高く、37.8%となった。

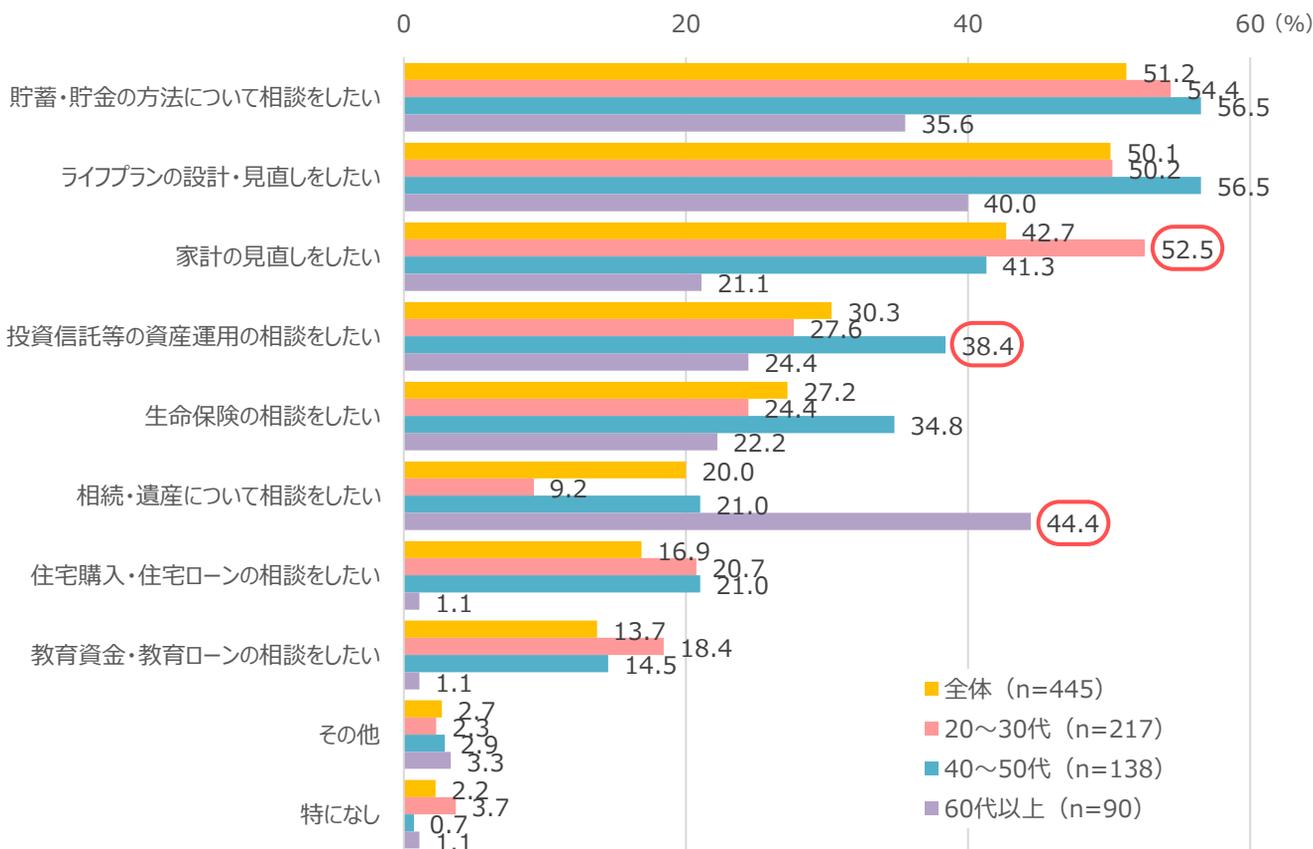
ファイナンシャルプランナーに相談したい理由、20~30代は全体と比べ「家計の見直し」についてが高い。

…FPに相談したい理由について、年代ごとに全体に対して最も高い割合となったのを見ると、20~30代では「家計の見直し」、40~50代では「資産運用」、60代以上では「相続・遺産」となった。

■あなたはご家庭の家計の管理についてファイナンシャルプランナーに相談したいと思いますか。（単一回答）



■有料でも相談したい/無料なら相談してみたいとお答えいただいた理由をお選びください。（複数回答）





■夫婦間でお金の話をしていないと、将来の貯蓄不安を感じやすい可能性あり。 資産形成の必要性・多様化に伴い、相談ニーズが増加 株式会社400F マーケティング部 酒匂はるか

お金の健康診断

<仲が良い夫婦ほど財布は一緒>

今回のアンケート結果によると、仲が良い夫婦ほど共同で家計を管理していることがうかがえました。共働き世帯における、毎月の生活費の分担方法（P.4）について、大きな差が見られたのは「夫婦共通の財布を作ってそこから支払う」の回答。仲が良くないと回答した夫婦は約18%なのに対して、仲が良いと回答している夫婦は約29%が共同管理していると回答しました。

仲が良いと回答した夫婦は仲が良くないと回答した夫婦の2倍以上となる約56%が「普段からお金に関する話をしている」（P.2）と回答しました。

共同で家計管理することで、お金の使い道や家計状況について話す機会が多いと思われます。

また将来の貯蓄について、仲が良い夫婦は「不安を感じている・やや感じている」と回答したのは約57%だったのに対して、仲が良くない夫婦は約70%が不安を感じていると回答しました（P.5）。

仲が良い夫婦ほど「配偶者の収入や貯蓄額を把握している」割合が高く、普段からお金の話をしていることでお金の不安や悩みを解消できているのかもしれませんが、逆に夫婦間でお金の話をしていない場合、将来に対するお金の不安を感じやすい可能性があります。当社の提供するサービス「お金の健康診断（※）」でも「配偶者が管理しているので家計のことはわからない」「貯金額を把握できていない」といった悩みを持つユーザーは少なくありません。

<若い世代ほど専門家への相談ニーズが高い>

ファイナンシャルプランナー（FP）への相談ニーズは、「有料でも相談したい・無料なら相談したい」という人は20～30代が約37%と最も多い結果となりました（P.7）。

お金の健康診断でも30～40代のユーザーが多く、老後資金や教育資金、住宅購入などの悩みを抱えています。**若い世代の相談ニーズの高い背景には、資産形成の手段の多様化があると考えられます。**超低金利時代の今日、個人の資産形成の必要性は高まり、つみたてNISAやiDeCoなど税制優遇制度のほか、低コストで個人で取引可能なネット証券やロボアドバイザーなど選択肢が多くあり、「何から始めればいいのか」「どう方法で貯蓄をすればいいのか」といった資産形成に対する漠然とした不安や悩みがあると考えられます。実際、20～30代は相談したい内容としてもっとも多かったものは「貯蓄・貯金の方法について」でした（P.7）。

「お金の健康診断」は全国のFP（ファイナンシャルプランナー）やIFA（金融商品仲介業者）と無料でチャット相談できるオンラインサービスです。匿名かつ無料でチャット相談できるため気軽に利用いただけます。国内最大級のお金の相談サービスとして、どんな立場の人にもお金の悩みや不安を解決する機会を提供してまいります。

（※）お金の健康診断とは

400Fが提供するオンラインサービスで、スマホから居住地や年齢、年収、家族構成などの質問に答えるだけで、同地域・同年代の人と比較した、ユーザーの家計状況の診断を受けられます。自分と似たユーザーと貯金額や投資額を比較して傾向などを受け取ることができます。その後、診断結果をもとにFP（ファイナンシャルプランナー）やIFA（金融商品仲介業者）等のお金に関する専門家からアドバイスコメントが届き、ユーザーはチャットで気軽に無料相談することができます。2021年11月時点で利用者数は10万人以上、登録するお金の専門家は700名以上の国内最大級のお金のオンライン相談サービスです。

“Pontaいましる”とは？

生活者・社会・企業の“トレンド”、人の“キモチ”を、生活に密着したサービスである“Pontaならではの”視点で調査・発表するリサーチプロジェクトです。Ponta提携社と一緒に、その時期に関心の高まる事柄について、Pontaリサーチ会員へアンケート調査し、発表します。

・「Pontaリサーチ」サイトURL：<https://www.loyalty.co.jp/ponta-research/>

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、“「Pontaリサーチ」調べ”とクレジットを記載していただけますようお願い申し上げます。